

巻頭言



会長挨拶

今年も日本人のノーベル賞受賞者が決まり、同慶の至りです。改めて日本の基礎科学の強さを感じ、今後日本から又、本学からの受賞者を期待するものです。

一方、現実の日本の姿を見ると、考えるべき多くの問題があります。なかなか豊かにならない我々の生活、この問題の解決は今後の大きい問題です。

野口 正一

政府としては、GDP500兆円を600兆円に増加させる方針を発表しましたが、実現手段の具体的な政策が見えてきません。

勿論、成熟社会となった日本にとっての問題は、GDPの増加だけではないですが。GDP向上の問題は、産業構造の観点から考えることが重要です。従来の考え方では産業は一次産業、二次産業、三次産業の階層構造で成立しています。各階層の将来の経済活動がどのようにGDPに影響を与えるか、この問題を考えてみます。

一次産業の中で、農業は重要な地位を占めます。農業が今後イノバイティブな技術の活用によりどのように発展し、GDPに寄与するのか。宮城県の農業生産額を見てみると、2000億円に達していない。勿論、農業の高度化は緊急の課題ですが、それによるGDPへのインパクトは限られたものになるでしょう。

次に、三次産業を見てみます。GDPの60%が国民の消費ですから、この階層はきわめて重要です。消費の拡大は当然国民の所得が増加しない限り不可能です。三次産業でのこの問題の解決は、日本は世界最大の債権国であり、海外からの環流される資金は効果があります。しかし三次産業の重要な金融ビジネスの世界で将来日本は世界の競争に勝っているのか。既に長年にわたり、この世界を支配してきた欧米のグループは、更にICTの活用により、極めて高度な金融ビジネスを展開している。この中で日本が競争に加わるのは大変と思います。以上、考えてみますと日本の基本戦略は、二次産業に特化することが大事になるでしょう。

二次産業のGDPへの寄与は20%に満たない。しかし外資を稼ぐ中心は二次産業であり、又二次産業で発展する技術は産業のあらゆる分野に多大の影響を与えることになります。現在、日本の製造技術は世界で冠たる地位を占め、これをベースに新しい二次産業の展開を考えなければならない。

しかしながら、IoT、ビッグデータ、AI等の先端技術の台頭は、二次産業のあり方を抜本的に変えてゆくでしょう。一つの考え方として、従来のProduct OutからMarket Inの発想が必要です。急速に発展する新興国にとって、緊急の課題は社会インフラの整備です。この分野でMarket Inのビジネス展開をするには夫々の国における多くの分野の人々との交流が不可欠です。つまり重要な課題は人間のネットワークの構築です。我々の電気系同窓会は、技術分野が中心ですが、確固たる人間のネットワークを構築しています。

今後同窓会が他の組織のネットワークとの交流を促進し、日本の将来の発展に寄与できれば幸いです。

最後になりますが、本同窓会会長を約6年間皆様の暖かいご支援のもとで務めさせていただいたこと、心から感謝申し上げます。又、次期小野寺会長、根元副会長のもとで本同窓会より一層の発展を祈るものです。

叙勲・褒章・顕彰

下記の方々のご受章をお喜び申し上げます。

瑞宝重光章 中村 慶久先生 瑞宝中綬章 高木 相先生
 舩岡 富士雄先生 中鉢 憲賢先生
 山之内 和彦先生

訃報

下記の方々の御逝去の報を受けました。
 謹んでご冥福をお祈りいたします。

| | | | | | |
|-------|----------|-------------|-------|----------|------------|
| 佐々木 宏 | 電昭16.12 | 平成27年12月17日 | 国田 正徳 | 子昭41 | |
| 半澤 幹雄 | 通昭25 | 平成27年11月20日 | 丹野 頼元 | 通昭27 | 平成28年4月22日 |
| 伊藤 登 | 電昭21.9 | 平成27年4月12日 | 小野田 元 | 電昭21.9 | 平成28年5月7日 |
| 湯沢 豊城 | 通昭20.9 | 平成27年12月25日 | 前沢 嗣伸 | 電昭31 | 平成28年3月12日 |
| 藤原 満男 | 通昭31 | 平成28年1月21日 | 小笠原 徹 | 電昭23 | 平成28年4月7日 |
| 鈴木 猛 | 電昭34 | 平成27年7月5日 | 渡辺 昇 | 通昭33 | 平成27年8月19日 |
| 山本 達夫 | 電昭25 | 平成27年4月13日 | 市ノ渡 浩 | 子昭38 | 平成28年4月12日 |
| 関 寅雄 | 通昭27 | 平成28年2月21日 | 丸山 英久 | 電昭30 | 平成28年5月1日 |
| 大見 忠弘 | 現教官 | 平成28年2月21日 | 近藤 彰一 | 通昭32 | 平成28年4月12日 |
| 及川 洋 | 電昭26 | 平成27年12月4日 | 利光 平大 | 通昭33 | 平成28年3月4日 |
| 鈴木 正武 | 電昭28.(旧) | 平成26年10月9日 | 棟方 浩一 | 電昭52 | 平成26年11月7日 |
| 佐々木茂次 | 電昭32 | 平成27年12月16日 | 大塚 修司 | 通昭26 | 平成28年5月21日 |
| 高平 衛 | 通昭29 | 平成27年12月22日 | 高橋 昭好 | 電昭28.(新) | 平成27年3月7日 |
| 千田 享男 | 電昭32 | 平成26年12月7日 | 松屋 恒男 | 電昭29.(新) | 平成27年5月26日 |
| 佐藤 平 | 電昭36 | 平成27年10月30日 | 新堀 理 | 電昭37 | 平成28年3月13日 |

編集後記

今号では、新しい教育や研究の活動などの近況について同窓会会員の皆様へご報告する記事を多数掲載することができました。大学を取り巻く昨今の情勢には厳しいものがありますが、これらの活動やその他の大型プロジェクトの充実によりさらに東北大の価値が高まって、学生や社会からのご期待に応えられるものと確信します。青葉山では、地下鉄が開通してから青葉山駅を中心とする人の動きが生じて、工学部の拡幅された歩道に歩行者の群れの風景も見られるようになりました。川内から車でのごぼってくる交差点は改良されて、通行しやすくなりました。農学部も青葉山へ移転して来て、慣れ親しんできたキャンパスの風景がますます変わっていくものと思います。